

職員による自己評価

A環境面

職員配置については、利用者が多い曜日は増やしたほうが良い。

B児童への支援内容

子どもたちの支援の細かい内容を見直した方が良い。共通した支援もあって良いと思うが、年齢別の具体的な支援も取り入れていきたい。

C関係機関との連携

学校との連携を密に取ることで、送迎時間の変更や学校行事の把握に努めることができた。保護者とは、引き続き送迎時や連絡帳での申し送りを行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

コロナ禍もあり、父母向けの座談会などの機会はないものの、オンラインを活用したコミュニケーション手段を考えていきたい。

E非常対応

感染症対策として検温と手指消毒及び室内の清掃を徹底している。

保護者による評価

A環境面

現在の状況下では見学等が難しく、事業所の環境が分からないため未回答が多数。

B児童への支援内容

支援に関しての4項目中3項目が「はい」90%、障害のない子供との関わりは「ない」が多い。

C事業所からの情報発信

オンラインでも良いので面談の機会は欲しい。保護者会に関しては「いいえ」が多いが必要性は不明。

D非常対応

職員が中心となり行っている。指示通りにできない児童もおおいのではないかと。

事業所内での分析

【共通点】

支援や活動内容に関しては概ね満足。

【相違点】

コロナ禍ということもあり評価しづらい面もあるが、事業所側からは年齢に合った支援や活動、利用者数に応じた適切な職員数にした方がいいという意見が多かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

開設以来、保護者の皆さまからの満足度を継続できており、毎日の連絡帳や送迎時に保護者より感謝の声を多数いただいている。

職員配置も適宜変更しており、専門性を伸ばすための外部研修を受講したり、社内研修により自己研鑽を行うなどしている。

事業所の改善点

利用者対応や保護者への対応に関して、職員によってスキルの習熟度が異なっており、未だバラバラな点がある。

事業所の改善への取り組み

社内での職員同士の共通の目標設定や社内方針を共有するために社内研修、外部研修への参加などの機会を増やしている。

毎週、定期的にミーティングを行うことで情報共有に努める。

利用者の日々の小さな変化について、可能な限り保護者と共有をしていきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

客観的に事業所を評価することで、課題や改善点を抽出することができた。

事業所側と保護者側での見方も同じではなく、満足度を高めるために新たな取り組みもしていきたいと感じた。

事業所名 _____ もみじのて KIDS 鶴見

担当者 _____ 松岡 亮